



年間第 29 主日 (マルコ 10:35-45)

「そのまま」で価値を持っているもの

年間第 29 主日の朗読箇所が登場するヤコブとヨハネは、イエスが栄光を受けた時、自分たちをその右と左に座らせてくださいと願いました。先週ペトロが、「このとおり、わたしたちは何もかも捨ててあなたに従って参りました」(10・28)と念を押した場面と重なります。

実に人間くさい願望ですが、将来の安心に繋がる言葉を、弟子たちは欲しがっているのです。世に言う「論功行賞」みたいなものですが、見方によっては弟子たちがイエスに取引を持ちかけているようにも見えます。

「これだけのことをしたのだから、これくらいはもらえるだろう。」すでに今週の出来事までに、イエスは三度もご自分の死と復活を予告しておられますから、弟子たちの置かれている状況はより切迫しているわけです。「私たちも死ななければならないのではないか。」それでなおさら、ヤコブとヨハネは約束を取り付けたかったのでしょう。

イエスに危険が迫る中、弟子たちが考えていたことをもう一度確かめましょう。何を欲しがったのでしょうか。私はこう思います。「そのまま価値を持っているもの」これが欲しかったのではないか。そしてヤコブとヨハネが考えついたのは、「イエスの右と左に座らせてもらうこと」だったのです。

ところで、「イエスの右と左に座らせてもらうこと」は、そのまま価値を持っていると言えるでしょうか？例えば中田神父が、大司教様のミサで、右に座れるとしましょう。「私の右にどうぞ」と言われてミサの間右に付いた。大司教様の右と左は、確かにずっと注目してもらえますが、そのことだけで価値があると、言えるでしょうか？

もし大司教様の右に付いていても、他の司祭たちから、「ちょっとどいてもらえますか」と言われるならば、何の価値もありません。右に付いているということは、例えば祭壇ではカリスやパテナを大司教様にお渡しするはずですが、それもしないでただ突っ立っているなら、明らかに迷惑なだけです。

もっとそのまま価値を持っているものを人は求めるべきです。イエスはそのことを戒めようとして、弟子たちに全く違うものを示したのです。「あなたがたの中で偉くなりたい者は、皆に仕える者になり、いちばん上になりたい者は、すべての人の僕になりなさい。人の子は仕えられるためではなく仕えるために、また、多くの人の身代金として自分の命を献げるために来たのである。」(10・43-45)

これこそが、イエスの眼に、「そのまま価値ある行い」「価値ある存在」です。理解してくれる人や身内にだけ仕えるのではなく「皆に仕える者」です。感謝してくれる人にだけ僕となるのではなく「すべての人の僕」となることです。これはこの世の物差しで測ることのできる「仕える者」「僕」を超えなければ、到底たどり着けないかも知れませ

ん。

参考のために、この世の物差しで測れない生き方をした人を紹介します。10月はロザリオの月ですが、1日の聖人は「幼きイエスの聖テレジア」でした。この聖女はカルメル会の厳しい生活の中に身を置きましたが健康に恵まれなかったために通常求められる「祈り、かつ働く」という生活ができませんでした。そこで修道院長から命じられたのは「雑用係」と「日記を付けること」でした。

彼女が果たした務めはささやかなものでしたが、「小さなことを、大きな愛を込めて」果たしていました。彼女が亡くなった時、一緒に暮らしていたどの姉妹も、彼女の偉大さに気付かなかったそうです。見た目には小さな務めしか果たせなかったからです。しかし後に日記が印刷され、一般の人の目に留まり、読んだ人から修道院に一日何百通もの手紙が届くようになったのです。

9年間という短い修道生活でした。身体の健康も含め、生きている間に何ももらえませんでした。神は彼女が果たした「皆に仕える者」「すべての人の僕になる生き方」を見過ごしはしなかったのです。これは、「皆に仕える者」「すべての人の僕になること」この生き方がそれだけでそのまま価値があることの証明ではないでしょうか。

世の中に、「皆に仕える者」「すべての人の僕」はたくさんいるでしょう。しかしカトリック信者は、その中でさらに「イエスが示した物差しをわきまえている人」であるはず。わたしたちはカトリック信者として、この世の物差しに適合した「皆に仕える者」「すべての人の僕」を超える生き方を示すことが可能です。可能なら、実行しましょう。そして本当に偉大なことは何かを、世に示すことにしましょう。

「あなたがたも知っているように、異邦人の間では、支配者と見なされている人々が民を支配し、偉い人たちが権力を振るっている。しかし、あなたがたの間では、そうではない。あなたがたの中で偉くなりたい者は、皆に仕える者になり、いちばん上になりたい者は、すべての人の僕になりなさい。」（10・42-45）